

北海道再生!! 道政ニュース
— 人に温かい道政 —

高橋とおる

発行 2006年夏～秋 No. 2号
高橋とおる後援会
自宅 函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



(本会議で初めての一般質問)

補欠選挙当選後、初めての一般質問に登壇し、高橋はるみ知事に論戦を挑みました。

今回の定例会は、十七年度決算において七億円の赤字を計上することになった一般会計と、一時借入金が増らみ過ぎ、自主再建を断念し赤字再建団体に転落する判断に至った夕張市問題さらには、空知管内旧産炭地六市町のヤミ起債問題など、窮状にある自治体財政について各会派が取り上げました。今後は、危機的な財政状況にある関係自治体への対応を協議するため、議会内にある「産炭地地域振興・エネルギー問題調査特別委員会」を随時開催して、現地調査も含め今後の対策を協議することになりました。また、道内では五十三市町が議会などで赤字再建団体転落の可能性が

第2回定例道議会で初登壇

ると報告し、その中には函館市も含まれており、三位一体改革における交付税の削減が、地方財政に深刻な影響を与えていることが明らかになりました。

そして、その犠牲はいつも弱い立場の人たちの所に押しつけられてきます。

今回の質問では、この四月に行った医療制度改革に伴う「療養病床の廃止・削減の影響について」と「障がい者自立支援法に関わる今後の課題について」を中心に、高齢者や障がい者の福祉サービスの低下に関わる不安解消を目的に行いました。

今後も、人に温かい道政の実現に向け頑張ってください。

北海道議会議員
高橋 亨

9月8日開催決定

高橋とおる

ビアパーティ

毎年恒例となっております高橋とおるビアパーティを左記のとおり開催します。道議会議員となって初めてのパーティですが、昨年と同様に着席していただいておりますので、気軽に参加いただけますようお願いいたします。

記

とき・9月8日(金)
午後6時30分
場所・函館国際ホテル
天平の間
会費・3,000円
主催・高橋とおるビアパーティ実行委員会



高橋とおる議員の今後の主な日程

- 7月20日 自治体改革セミナー
道立高等技術専門学院
長期ビジョン地域説明会
- 7月21日 青少年少子特別委員会
- 7月22日 民主党北海道フォーラム
高橋とおる道政報告会
亀田本町会館
- 7月24日 渡島地域道政懇話会(移動政審)
- 7月25日～27日 青少年少子特別委員会道内調査
- 7月27日 金田誠一後援会ビアパーティ
- 8月1日 文教委員会
警察問題を考える道民集会
移住促進議員連盟学習会
- 8月2日 青少年少子対策特別委員会
- 8月3日 日中青少年交流協会
(ワッショイはこだて)
- 9月8日 高橋とおるビアパーティ

とおるちゃんの活動報告



帯広農業高校視察



函館大学小笠原学長と放送大学函館学習室開設に尽力



道南四季の杜公園沿道のコスモスの種まき



森林活性化議員連盟の一員として植樹へ汗を流す

《第1点目》

医療制度改革の一環として、全国の療養病床三十八万床の六割にあたる二十三万床を削減し、コストの低い老人保健施設やケアハウス、在宅療養に切り替えることにより道内では約三万床の六割にあたる約一万八千床が削減の対象となります。このままでは、介護難民が出ることや、家族へのしわ寄せ、療養病床を有する病院経営への影響や関わる看護・介護職員の失業、介護サービスが増えることによる介護保険料の値上げ、自己負担の増大・自治体負担の増大などが想定されるため、関係の質問を行いました。

①広い面積、積雪・寒冷、高い高齢化率等の地域特性を持つ北海道に対しても同率の療養病床削減を求めているが、知事の認識は？療養病床の削減について

は、老人保健施設等の転換を図るなど、地域における十分な受け入れ体制を整備した上で医療の必要性に応じた再編成を進めることが重要であると認識している。

②必要な施設や医師による往診、訪問看護・介護など地域の受け皿をどう整備しようとするのか。

今後、国においては、病床転換にあたっての地域の受け皿づくりを含め、地域ケア整備指針を策定することとしており、道としても、必要なサービスが地域において提供されるよう適切に対応したい。

③療養病床の再編によって既存の医療機関で療養病床を有している病院は、その経営に支障を来すことが懸念されるが、どの様にお考えか。

療養病床を有する医療機関においては、大きな影響があると考えている。

法改正に当たり、参議院において、療養病床の転換について各般にわたる必要な支援策を講じることなどの附帯決議がなされた。道として市町村や医師会などの関係団体との連携のもと、円滑な転換が図られるよう努めて参りたい。

④このたびの見直しにより看護・介護職員の失業が生まれる可能性が高くなるのではないか。(例へ函館の慈愛会病院の患者を全て地元施設が受け入れた結果職員の大多数は失業した)知事はどう受け止めるのか

道としては、療養病床再編の受け皿づくりに努めることとしており、現在、療養病床に勤務する職員についての雇用先も確保されることと受け止めている。



業者向けセミナーなど積極的に支援したい。

⑤現在の障がい者雇用を見ても、官公庁はもちろん一般企業も目標に達していない。また、社会は能力第一主義、格差社会の是認など障がい者の雇用は一層厳しさを増しているが、知事は国の計画が現実のものとなるとお考えなのか。

雇用、福祉、教育などの関係行政機関で構成する「北海道雇用支援合同会議」を設置し、関係機関が協力して、効果的に就労が促進されるよう取り組んで参りたい。

⑥計画策定に関わり、障がい者の意見が反映されるよう、どのような措置を講じてお考えか。

「地方障がい者施策推進協議会」に障がい当事者の方々を委員とし、計画策定専門委員会を設置して協議をいただいておりますが、今後は、障がい関係団体との意見交換や道内四力所にお

とについての認識は？ 今回の改革により、介護保険施設等で提供されるサービスの増も見込まれることから、自治体や被保険者の負担が過度にならないよう必要に応じて、国に要望して参りたい。

★道はこの問題のやりとりを通して道民に対し、「介護難民も出ないし、病院の施設転換や職員の雇用も心配無い」と胸を叩きましたが



本当に不安は無いのか、今後も、この問題を注視して参ります。 《第2点目》 「障がい者自立支援法」に関わり、都道府県・市町村において今年度中に「障がい福祉計画」を策定することになりました。 国の計画には精神・知的障がい者の自立を目的として入院や施設入所から地域生活への移行を推進、併せて一般就労支援事業の施策メニューが示されました。 十月には障がい程度区分の判定が行われ、精神障がいでは全国で七万人の退院、知的障がいでは施設入所者7%削減の数値目標が設定されました。このことに関わり、障がい区分判定や地域共同作業所の事業転換、計画の実現性などについて質問を行いました。

①障がい区分判定は百六項目中七十九項目が要介護認

定の調査項目を転用することや、日常的な行動障がいや、定期的な行動障がいなどが反映されないなど、適切に判定されるのか疑問視されるが、道の対応は？

一次判定が的確に行われるよう、国に早期の内容改善を要望し、また、認定調査員の研修においては「特記事項」を的確に記載するよう指導。併せて市町村審査員の研修においても、「特記事項」や医師の意見書を十分勘案するよう説明し、障がい程度区分の認定が適切に行われるよう努める。

②これまでの地域共同作業所が就労移行支援事業や就労継続支援事業などに移行が求められるが、事業内容や職員配置、法人格など課題も多い。移行にあたってどの様に支援されるのか。 地域共同作業所が事業として法的に位置付けられる地域活動支援センターに移行できるように必要な助成、設備整備に対する助成、事



業者向けセミナーなど積極的に支援したい。

③現在の障がい者雇用を見ても、官公庁はもちろん一般企業も目標に達していない。また、社会は能力第一主義、格差社会の是認など障がい者の雇用は一層厳しさを増しているが、知事は国の計画が現実のものとなるとお考えなのか。

雇用、福祉、教育などの関係行政機関で構成する「北海道雇用支援合同会議」を設置し、関係機関が協力して、効果的に就労が促進されるよう取り組んで参りたい。

④精神科病院の入院患者の内、全国で七万人を「退院可能精神障がい者」として病院から出し、自立させようとしているが、社会適応に懸念を持たれている方の地域生活を、どのように進めて行くのか。

現行の「精神障害者地域生活支援センター」に精神保健福祉士や、退院・自立を支援するコーディネーターを配置して、個々の状態に合わせた支援を行い、就業や居住などにつきまして、円滑な地域移行が図られるよう努めて参りたい。

⑤計画策定に関わり、障がい者の意見が反映されるよう、どのような措置を講じてお考えか。

「地方障がい者施策推進協議会」に障がい当事者の方々を委員とし、計画策定専門委員会を設置して協議をいただいておりますが、今後は、障がい関係団体との意見交換や道内四力所にお

2 採択された決議・意見書

(◎は政審発議、○は委員会発議)

- ◎朝鮮民主主義人民共和国の暴挙に抗議する決議
◎自治体財政の充実・強化を求める意見書
◎J R不採用問題の早期解決を求める意見書
◎J R三島・貨物会社に係る支援策に関する意見書
◎出資法及び貸金業規制法の改正を求める意見書
◎弁護士から警察への依頼者密告制度(ゲートキーパー制度)の立法化に反対する意見書
◎医療制度改革に関する意見書
◎難病対策の充実等を求める意見書
◎脳脊髄液減少症の研究・治療等の推進を求める意見書
◎「高等学校及び看護専攻科」5年一貫課程修了者の大学編入学を求める意見書
○WTO農業交渉に関する意見書
○季節労働者の「特例一時金」維持に関する意見書
○道路整備に関する意見書

※会派は、「米軍戦闘機訓練を航空自衛隊千歳基地等に移転・分散することに反対する意見書」、「米軍再編と3兆円負担に関する意見書」、「郵便局の外務事務を統合する計画に反対する意見書」、「道内測候所の存続に関する意見書」を提案したが、自民会派、公明会派の反対で否決された。

高橋はるみ知事の就任時と今の社会状況比較

Table with 5 columns: Item, Highashi Harumi before (Heisei 14), Highashi Harumi after (Heisei 16), Comparison, Reference. Rows include Life Protection (被保護世帯数, 被保護人員数), Suicide (自殺者), Mental Health (精神障害者福祉手帳交付者数), Crime (重要犯罪認知件数), Child Abuse (児童虐待児童相談所の処理件数), Income (全世帯年間収入(平均), 勤労者世帯年間収入(平均)).

いてタウンミーティングを開催し広く道民の意見を反映したい。★障がい者の自立は、家族の大きな願いですが、一方でサービスの下も懸念されています。皆さんのご意見をお聞かせ下さい。



北海道再生!!
一人に温かい道政

道政ニュース

高橋とおる

発行 2006年秋～冬 No. 3号
高橋とおる後援会
自宅 函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



委員長席で議事を進行する高橋道議

副委員長に就任

道議会・第二回定例会予算特別委員会第一分科会

道議会第三回定例会が九月十二日から開催され、委員会人事において、予算特別委員会第一分科会（総務部、知事政策部、企画振興部、環境生活部、保健福祉部、選挙管理委員会、人事部、公安委員会、出納委員会、監査委員会、企業局を所管）の副委員長の任を仰せつかりました。

予算特別委員会は、とりわけ夕張市を含めた旧産炭地問題や、道の財政運営、認定こども園条例、障がい者自立支援に関わる認定や施設整備・雇用問題、環境税の本格導入に関わる諸課題の他、公立病院における医師不足の改善等に質問が集中し、自らも「認定こども園条例」に関わる質疑を行い、部長答弁に納得せず知事総括質疑に保留、さらに負託委員会において附帯意見を付すなど、この定例

北海道議会議員

高橋 亨

《認定こども園》

子どもの保育にも規制緩和か：「保育に欠ける子」を保育する保育所と、「幼児教育」を行う幼稚園を合体させ、保育に欠ける子も欠けない子も入園させ、入園も保育料も施設との直接契約という「認定こども園」がスタートすることになりました。

道は認定基準の条例を作り、第3回定例会に提案しましたが、地域理解も不十分なままの拙速なやり方に多くの不満が出ています。委員会でも



地域理解も不十分のままスタートする認定こども園制度

内容の不十分さや施行日の先送りを質問しましたが、「国が十月施行だから」と自主性無き答弁（半分以上の府県の施行日は十二月以降）。やむなく委員会からは「附帯意見」を付すことに。知事が国指図なら管理職もか。

《新たに高校教育に 関する指針》

地域の声は聞き置く程度？ 指針の前身は、一学年三間口以下は統廃合の対象、暫定二間口は廃止、一間口は廃校。存続を希望する市町村は道立から市町村立への移管を受けるか、通学状況や生徒の在籍状況（一学年2学級以下）に応じキャンパス校化（同一通学区域内の一学年四学級以上のセンター校から、出張授業や沿革授業などを行う）を検討するといふもの。

分聞きたい」と言っているが、今まで開催された「地域意見を聞く会」では、ほとんどが地域の高校を残して欲しいという意見であるにも係わらず、少子化を盾に、将来を見据えた指針だと譲る考えもない。地域意見を聞く会にはアリのバイ作りなのか。



恵山高校の廃校により受け入れ先となった道立戸井高校

高橋道議を支える市議会議員の皆さん

引き続きのご支援をお願いします。



福島 恭二 (ふくしまきょうじ)

1939年 木古内町で生まれる
1962年 函館市交通局入局
1970年 労働大学（通信教育）終了
労組委員長を経て
1983年 函館市議選初出馬初当選（以降6期上位当選）民生常任委員長、決算特別委員長、会派議員会幹事長、会派議員会長
1995～1997年 市議会議員
1997年 函館圏公立大学広域連合議長
1998年 予算特別委員長、監査委員、柏稜高等学校PTA会長等歴任
2003～2006年 市議会議員（前・後期）



斉藤 佐知子 (さいとうさちこ)

1959年函館市入船町に生まれる。47歳
函館遺愛女子高等学校を経て、1981年北海道立衛生学院を卒業し、函館市役所（市立函館保健所）に採用
2003年4月市議会議員に初当選し、現在1期目所属会派～民主・市民ネット 所属委員会～総務常任委員会
その他役職国際水産・海洋都市構想議員連盟幹事



道畑 克雄 (みちはたかつお)

（函館市議会議員候補予定者）
1961年札幌市に生まれる。45歳
1980年函館東高校を卒業し、函館市役所に採用。市役所労働組合副委員長などを歴任し、現在は、道南平和運動フォーラム代表、2007年4月に執行される市議会議員選挙に立候補予定。

第3回定例会道議会にて採択された決議・意見書

（は政審発議、は委員会発議）

地方自治体財政の充実・強化を求める意見書
食の安全・安心確保に関する意見書
難病医療費適用範囲見直しに関する意見書
ドクターヘリ全国配備の新法制定を求める意見書
私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
北方四島周辺海域における日本漁船の銃撃・拿捕事件に関する意見書

会派は、教育基本法改正案に反対し慎重審議を求める意見書、米軍戦闘機訓練の移転に反対する意見書」を提案したが、自民・公明会派の反対で否決されました。



必要とされる道議になることを誓う



満面の笑顔でハイチーズ



高橋道議自慢の声を披露



高橋道議を支える市議の皆さん
左から岡市議・斉藤市議・福島市議



大抽選会の様子



どうなん「学び」サポートセンター
理事長奥平忠志先生の結びの乾杯



函商PTA・OB会のみなさん



大川町会のみなさん



地元美原町会のみなさん



亀田本町後援会のみなさん



富岡一丁目町会のみなさん

多くの皆さんに感謝 『高橋とおるピアパーティー06』

会場満杯!!約700名の参加者と交流 “皆さんに必要とされる道議を目指して、”



多くのみなさんに感謝

〜裏方さんご苦労様でした〜

当日は、落語家の三遊亭洋楽師匠に司会をお願いして、いつもの爽やかな女性性司会とは少し趣きの変わった雰囲気です。乾杯の後、約六十テーブルを回っての挨拶に、二枚用意していたハンカチも汗でびっしょり。受付やビールなどの飲み物、撮影、進行、抽選会などを担当していただいた三十名近くのスタッフの皆さんご苦労様でした。(打ち上げでは洋楽師匠の艶笑話も聞くことができました)

温かい道政を目指して

高橋はるみ知事は、中央指向が強く、「道州制」など全国知事会や自民党中央が目指す政策には積極的ですが、悲しい犠牲者を出した根室の拿捕事件や、夕張等の産炭地問題は、当初は事務方に丸投げしたり、また、高齢者や障がい者、地方自治体には冷たい対応しかしておらず、来年の選挙では、真に道民のことを思う知事を選出し、温かい道政を目指さなければなりません。道議会は、市民の皆さんには見えにくい議会ですがそれを身近にすることも私の使命です。

確かな北海道の未来のために全力を尽くします。

道議補選でのご支援に感謝・皆さんの声を道政へ

函館市選挙区の道議に二名の欠員が生じたことから皆さんに相談する時間も無く、急ぎよ、道議選挙に出馬することになりましたが、皆さんのお力添えをいただけて無事当選することができ、心から感謝いたします。

議会では、文教委員会、青少年・少子対策特別委員会に所属し、機会あることに質問を行い、第一回定例会予算特別委員会では、私学助成、新たな行財政改革の取組、札幌医科大学産学・地域連携センターの設置について質問し、第二回定例会では初めて本会議で質問に立ち、高橋知事に対し、療養病床の廃止・削減問題、障がい者自立支援法に係る今後の課題、北海道観光の推進、北海道国民保護計画の課題について質問しました。

文教委員会では、小中・中高連携の効果と課題、新たな高校教育に関する指針、青少年・少子対策特別委員会では、放課後児童クラブ(学童保育)、認定こども園問題に取り組む等、私学、療養病床を持つ病院、地域共同作業所、学童保育、教育、幼稚園、保育所、行政等、関係者の方々の声を道政に届けて参りました。

暑さも残る九月八日、毎年恒例の「高橋とおるピアパーティー」が、今年も多くの皆さんに囲まれ、にぎやかに開催されました。

市議時代から続けてきましたピアパーティーも今年で十回目を迎えることになり、また、道議として初めてのパーティーということもあって、会場も今までより大きな場所に変更しましたが、駆けつけてくれた多くの皆さんで会場は一杯となり、予定の時間もオーバー、楽しいひとときを過ごしていただくことができました。

パーティーでは、議員として育てていただいたお礼と感謝の言葉、そして、今後の活動への思いを語りました。



ピアパーティーであいざつする高橋道議



函館市西尾助役からのあいざつ



民主党北海道沖田幹事長からの激励のこたげ



百合ピアパーティー
実行委員長あいざつ



司会の三遊亭洋楽さん



北海道再生!! 道政ニュース
一人に温かい道政

高橋とおる

南茅部地域特別号
高橋とおる後援会
自宅 函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



(成田渡島支庁長(左)に早期復旧の申し入れを行う高橋道議(右))

低気圧による高波被害、南茅部地区に集中！
渡島支庁長・土木現業所所長へ早期復旧の申し入れ
函館市選出高橋とおる道議

十月八日未明から九日にかけて北海道各地を襲った暴風雨は、道南でも特に南茅部地域の木直町から古部町にかけ、過去に経験のない十メートル以上の高波が道路や建物を襲い倉庫等建物全壊・半壊、船揚げ場破損、漁船沈没・破損、定置網の破損、根付けコンブなど多岐にわたる被害がありました。とりわけ古部漁港の防波堤では、高さ六m、重さ二百tのコンクリート製ケーソン一個が高波によって剥がされ、約四十mも護岸上を移動した他、二千t級ケーソン一個が水没し、さらに消波ブロックも崩される等の被害が出ました。その他にも、離岸堤や消波ブロックの崩壊や民家にも被害があり、早急な復旧が求められております。

地元の高橋道議は早速、被害状況の把握に南茅部支所を訪れ、細井支所長、小中副支所長、鎌田地域振興課長等行政関係者や、南かやべ漁協・鎌田組合長、小川専務理事、中村常務理事など漁協関係者から被害状況などの説明を受けた後、現地を調査いたしました。その後、現地視察に訪れていた成田渡島支庁長、武田土木現業所長に現地の声を伝え、特に、漁船の航路の確保や船揚げ場の復旧に向けた早急な対処を要請し、さらに今後の災害対策に万全を期すよう申し入れました。

また、「民主党南茅部地区暴風高波被害対策本部」を設置し、地元関係機関だけでなく、道庁や国への要請にも党を挙げて対応していくこととしました。



古部漁港防波堤の損壊



木直町(白井川地区)の高波の状況



漁船の陸地への乗上(古部漁港内)



南茅部支所細井支所長(右)より被害状況の説明を受ける高橋道議(左)



南かやべ漁協鎌田組合長(左から二人目)南茅部支所小中副支所長(左から三人目)と防波堤の破損状況等を確認する高橋道議(右)



成田渡島支庁長(右)と現場の被害状況を話し合う高橋道議(左)

北海道議会議員
(函館市選出)
高橋とおる
プロフィール

- 1953年9月20日 函館市に生まれる
- 1972年3月 函館有斗高等学校卒業
- 1974年10月 函館市環境部に勤務
- 1994年3月 函館市役所退職
- 1994年4月 市議会議員補欠選挙に初当選、市議4期11年
- 2006年1月 北海道議会議員補欠選挙にて初当選
- 民主党・道民連合所属し活躍中
- 主な経歴
民主党道南総支部幹事長・函館市議会民主・市民ネット幹事長・議会運営委員会委員長・函館市監査委員
- 主な役職
民主党道南総支部副代表
- 家族構成
妻・長男次男の4人家族で現在は、妻と2人暮らし
- 趣味
スポーツ観戦・読書・映画鑑賞・パークゴルフ